



あおあお やまやま 青々や山々の「々」は、何の意味なの

くり返しを表す符号

わたしたちが新聞や雑誌を読んでいると、「青々とした海の色」とか、「緑の山々がどこまでも続く」という文章に出会うことがありますね。このときに使う「々」という字は、すぐ前の文字をくり返すという意味です。「青青」と書かずに「青」のあとに「々」という「くり返し符号」を入れて、「あおあお」と読ませるのです。

昔、文や手紙などを書くときに、前の文字をくり返すときは、文字をきちんと書かないで、前の文字と同じであるという符合をよく使いました。今では、これらの符号はほとんど使わなくなり、「々（同の字点）」だけが使われています。

「々」は、漢字一字のくり返しのときだけに使います。たとえば、山々、青々、国々、日々、種々、毎々と書きます。「小学校々長」とか「民主々義」とは書きません。

「々」の字が行の初めにきたときは書かないで、正しく漢字を書きます。

「々」の字をカタカナに分解し、「ノ」「マ」という読み方もあります。

日本で作られた和製漢字「国字」

中国から伝わった漢字の字体にならって、日本で作られた文字を国字といいます。

国字は、ふつうは、訓だけで、音読みがありません。

たとえば、「畑」「峠」「辻」「躰」などは、代表的な国字です。（監修・田代 脩）

